

事業概要書

事業名	「まつどの介護」プロモーション事業
団体名	NPO法人SmileResource
事業担当課	介護保険課

事業概要
松戸市の介護支援における資源をプロモーションビデオ（動画コンテンツ）することで“見える化”を図り、「分かりやすく利用しやすい松戸市の介護」の促進を図る事業を実施する。

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>超高齢化社会となった我が国では、毎年10万人近くも介護離職者が発生しています。</p> <p>今後高齢化が急速に進むにつれ、さらに仕事と介護の両立ができずに離職する人の割合は増えていく可能性があります。</p> <p>この状況は松戸市にも同じことが考えられます。</p> <p>私どもの取組は、松戸市に整備された介護制度を「如何に市民の方へ分かりやすく伝えるか」をミッションに、介護離職者の減少を成果にしています。</p> <p><u>課題①「市民への周知度向上」</u></p> <p>松戸市の介護支援体制は、多くの資源を準備し手厚い体制です。（まつどdEいきいき高齢者サイト参照）しかし、市民の「松戸の介護体制」に対する認知度は決して高いものではありません。市民に対して松戸の介護制度を分かりやすく発信する必要があると考えられます。福祉の時代、介護の時代という大きな地域社会の背景の中、それらの存在をもっと市民に理解し易く伝えることが求められています。</p> <p><u>課題②「若者の力をもっと活用したい」</u></p> <p>地域における高齢者支援は高齢者（地域活動）が支えている印象がありますが、これからの時代では若い人材の力を活かす取り組みが必要です。</p> <p>ホームページやSNSといったツールを使って今まで以上に「松戸の介護を見える化」した情報を発信し、老若男女問わず、松戸の介護に関心を寄せていただき、理解度を高め、高齢者福祉の課題を松戸市民全体で支えていく体制をより強硬なものとするのが求められています。</p>
事業の目的	<p>この事業は次のことを目的として進めていきます。</p> <p>キーワードは、「いつでもどこでも、手軽に松戸市の介護サービス情報を“見る、知る、聞く”ことができる」</p> <p>課題①の解決策として、松戸市の介護制度を動画化し、『誰もが、いつでもどこから（自宅、仕事場、市外、病院のベッドの上等）でも手軽に楽しみながら「松戸の介護資源」の情報を得られるようする。</p> <p>その成果として、『具体的な介護制度の利用方法・サービス内容を理解し易くなり、支援体制の認知度向上へ繋げていく』ことです。</p> <p>課題②の解決策として『市内外に問わず、介護の資格所得を目指している学生さんら（高校生、専門学生、大学生等）に動画制作への協力を仰ぐことで活動の中で“松戸の介護”について実体験を伴って学べる機会をつくる』</p>

	<p>成果として、これからの超高齢化社会に向き合い、そして支えていく担い手を増やすことです。</p>
事業内容	<p>市内に幅広く整備されている介護支援体制（行政、事業、市民活動等）をプロモーションビデオ（PV）化し、下記の YouTube チャンネルにアップロードすることで、「松戸の介護の見える化」を図る。</p> <p>○YouTube チャンネル名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険課まつど DE 介護ちゃんねる <p>○介護支援体制及び介護事業所（サービス内容等）のPV化（種別ごと）（PV制作について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松戸市内の事業所を訪問し、以下の動画を撮影 事業所の位置（周りの環境など）、外観、設備、サービス提供風景等 ・撮影スタッフ構成 団体スタッフ1名～2名+学生ボランティア1～2名 *学生さんは担当課と協力の上、学校等へ直接依頼し募集します。 ・動作制作に要する機材 スマートフォン、カメラ、動画編集ソフト、インターネット接続機器等 ・主に取材・撮影する種別 介護施設、通所事業所、訪問系事業所、福祉用具事業所など ・事業周知のためのチラシ作成（市内介護事業所などへ配布）
協働の必要性	<p>①福祉というテーマ性から市民に信頼していただき、広く伝えるためには公共的な関わりが重要になります。</p> <p>当法人単独での活動では実現が困難（特に周知面）であり、介護分野の各団体からの協力や連携が必ず必要となってきます。各種団体との連携を図るためにも行政との連携・協働を事業として取り組むことが重要になります。</p> <p>②このプロジェクトを成功させ松戸市の新しい資源とするためには、行政として力を入れている事業や市民の方に知ってもらいたいことなどを、松戸市を通じてクローズアップすることが必要です。そのためには内容の監修も含めて、市内の介護を担う担当課（介護保険課）の職員に入ってください必要があります。</p> <p>③そして最後に、この取り組みにて制作された動画を沢山の方々に視聴いただきたいと思っています。市民の方以外にも、介護系専門職の方や介護福祉士養成校の先生、学生方、そして介護の仕事に挑戦してみようと考えている方などにも視聴いただくと幸いです。</p> <p>そのためにも、松戸市と協働で働き続けることが求められる事業だと考えています。</p>
事業の目標	<p>①初年度の動画制作予定数は年間15～20本でしたが、撮影・制作時間とコロナ禍での活動を実体験し、年間制作本数を調整しています。</p> <p>年度制作動画の目標数年間8～10本（目安4月～8月で4本／10月～3月で4本）</p> <p>「種別ごとの介護」を事業毎に5分程度のPVとして作成</p> <p>事業年3年間を通じて、30種の動画を制作する目標は継続します。</p> <p>②介護を学ぶ学生ボランティアの参画 年間5～10人</p> <p>ボランティア募集を強化します。多くの方にこの事業に賛同いただけるよう担当課と協働でボランティア募集（チラシ配布、説明会開催等）を行っていきます。</p>

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 244,200	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 28,490	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 28,490	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 256,410	
合計額 (D) = (B+C)		¥ 284,900	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
	使用料および賃借料	¥ 86,000	動画編集ソフト（ライセンス料） 10,000円/年 撮影機材 カメラ（リース代） 5,500円×12ヶ月 会議室利用料 2,000円×5回
	消耗品費	¥ 42,900	資料作成用インク代 3000円×3セット コピー用紙代 3000円×3箱（15,000枚） アルコール消毒液 2000円×5個 フェイスシールド24枚入り 9900円×1個 スマホ用カメラレンズ 5000円×1個
	食糧費	¥ 16,000	撮影時のお茶代（ボランティア用） 菓子代 (1回) 2,000円×8回
	印刷製本費	¥ 9,000	動画案内のチラシ 9000円（1500部）
	通信運搬費	¥ 81,000	動画編集用インターネット利用料 月6,000円×12ヶ月 郵便代ゆうメール 180円×50か所
	委託料	¥ 50,000	チラシデザイン料（事業PR用） 25000円 チラシデザイン料（ボランティア募 集用） 25000円
	対象経費の合計 (E)		¥ 284,900
（その他経費） 対象外			
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	
合計額 (G) = (E+F)		¥ 284,900	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×925円
	会議・打ち合わせ 対面(2回) ZOOM (10回)	55,500 円	5 人 × 1 h × 12 回 × 925 円
	撮影企画準備	44,400 円	3 人 × 2 h × 8 回 × 925 円
	撮影	88,800 円	3 人 × 4 h × 8 回 × 925 円
	編集	44,400 円	1 人 × 6 h × 8 回 × 925 円
	ボランティア説明会	5,550 円	3 人 × 1 h × 2 回 × 925 円
	説明会準備	5,550 円	3 人 × 1 h × 2 回 × 925 円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
合 計 (A)	244,200 円		